

活動のご報告

当センターの活動にご協力いただき厚くお礼を申し上げます。当センターの7月後半から8月上旬にかけての活動のご報告をいたします。

7月前半から引き続き「長期育成循環施業試験」、「下刈り時期及び立地を考慮した下刈省略化技術の開発試験（※）」、「大苗植栽による長期密度管理施業観察試験（※）」及び「溪畔域の植生回復試験」に伴う調査を実施しております。

特に上記のうち（※）を付した2試験の調査については、森林総合研究所所属研究者のご協力を得て調査を実施したところです。

今後も、「長期育成循環施業試験」等の調査を集中的に実施するため、職員が現場へ出張することが多くなり、連絡が付きづらいこともあるかと思えます。

その場合は、お手数ですが、再度、連絡をいただきますか、センター宛てにメールの送信を願います。

センター宛てメールアドレスは、ks_kasama_postmaster@maff.go.jpです。

また、公開講座の開催については、コロナウイルス変異株のまん延により、開催時期等が未定となっております。決定次第、報告をいたします。

関東森林管理局 森林技術・支援センター

関東地区特定母樹等普及促進会議への参加

令和3年7月30日（金）（13～16時） WEB上で開催された関東地区特定母樹等普及促進会議に所長が参加しました。

主な議題は以下のとおりです。

- (1) スギ・ヒノキ・カラマツのエリートツリー及び特定母樹の選抜の現状と今後の見通しについて
- (2) スギ特定母樹の育種価等改良効果について
- (3) 技術指導の取組について
- (4) 特定母樹等展示林の設定について

快適です空調服！

7月終盤の梅雨明けした途端に、気温33度前後の真夏日が続いております。

当センターでは、熱中症予防のため、調査を実施する際には空調服の着用を始めました。

実際に作業を行っている職員からは、熱がこもらない、汗で上着が張り付かないなど、昨年より快適に作業を進めることができるとの好評価です。

写真は、空調服を着用し調査を実施しているところです。

